

出張報告書

平成 29年 8月 23日

職氏名 市議会議員 前東 直樹	用 務 地方議員研究会研修に参加
期 間 平成 29 年 8月 21日から 平成 29 年 8月 22日まで	出張先 熊本県熊本市中央区下通1-7-18 TKPガーデンシティ熊本

意見・調査事項

地方議員研究会「超少子高齢化・地域消滅の時代における地方議会」

(第1日)

1. 「地域消滅時代のあるべき予算と行政計画を考える」
2. 「本格的少子高齢社会における地方議会のあり方」

(第2日)

1. 「あるべき地方議会改革とは」
2. 「自治体ガバナンス改革と地方議会」

【意見等】

- ・担当講師の伊関友伸氏は、埼玉県職員として行政経験と「行政評価」について実績を持つとともに、県医療センター等の改革の経験から、全国各地の「地域医療問題」にも携わっており、この度の下関市における医療制度改革においても審議会の座長に内定しているなど、今後の本市の活動にも大きく影響を与えると考え、氏の考え方や方向性を伺うために受講した。
- ・伊関氏のテーマである「行政評価」と「地域医療問題」は地域医療に対する行政の関わり方として相互に関連し、研修においても行政評価の観点からのアプローチではあるが、それが地域医療問題にどのように影響してきたかを、成功事例・不成功事例の両面から説明された。
この点一般に、行政評価はマクロ的な視点から抽象的になりがちな部分もあるが、市民生活に密接な地域医療問題との関連づけることで、非常に具体的で理解の一助となった。
また氏の経験から、基本的な行政の仕組みとともに、地方議会のあり方や問題点についても忌憚のない指摘を受け、今後の参考にしていきたいと考える。
- ・なお、本市での医療制度改革を踏まえ、より具体的な「地域医療問題」への取り組みについてもさらに研究を重ねていきたい。